



第50回 彦根市PTA大会 開催中止…



一月二十二日土曜日に開催予定だった第五十回彦根市PTA大会が完全中止となりました。感染状況を鑑み、昨年度同様、動画撮影をし、配信開催へ切り替えたものの、撮影することさえ難しくなり、やむなく完全中止となりました。

講演をお願いしておりました高橋啓子さんをはじめ、ご予定いただいております皆様にお詫び申し上げます。

彦根市PTA連絡協議会会長より

平素より彦根市PTA連絡協議会の様々な事業や活動に、多大なるご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

私たち彦根市PTA連絡協議会は「単位PTAのためであれ」を合言葉に、市内三十三校園のPTA会員九一〇〇人余りの皆さんと一緒に歩んでおります。

昨年はオンラインピック・パラリニックが一年遅れで開催されたことや、新型コロナウイルスの影響によりワクチン接種や行動制限によりPTA活動への影響を与えた年でありました。

本来ならば彦根市PTA大会は、日ごろの実践活動の発表や交流などを通し、連携の輪を広げる中で、今後のPTA活動の在り方について、より一層のご理解とご協力を深めてもらえらる大会として開催させていただき、この時期の彦Pだよりは、彦

根市PTA大会の内容を掲載させていただきます。しかし、変異種オミクロン株の感染が拡大し、今回表彰を受けられる方々やご講演をお願いしております高橋啓子さん、子育て体験発表をお願いしておりました皆さんにはご迷惑をおかけいたしますが、大会を開催せず動画配信にて視聴いただくとうと試みましたが、関係各位の方々やスタッフの感染リスクを避けることを第一に考え、全面中止といたしました。

今回表彰を受けられた方々には賞状と記念品をお送りし、子育て体験文集の挿絵については、ビバシティ彦根、まんまる広場に展示するのみなとなってしまいました。楽しみにしてくださっていた皆様、申し訳ありませんでした。

次年度は、彦根市PTA連絡協議会は七〇周年の節目の年を迎えます。幼稚園、こども園、小学校、中学校、家庭、地域の絆をより一層深めるための核となり、かけがえのない生命を大切にすると同時に、未来あるすべての子どもたちの健康を第一に考え持続可能な社会の担い手となるよう、さらなるPTA活

令和4年度 第51回 彦根市PTA大会 彦Pフェスティバル(仮)


実行委員募集!

募集人数 10名程度
*多数の場合書類選考させていただきます

応募資格 彦根市内在住の子育て中の保護者さん
・子育て卒業した保護者さん

申込方法 申込先に氏名、連絡先、お住いの学区、一言アピールをお願いします。お電話でもメールでも
令和4年4月25日締め切り

申込・問合せ先
彦根市教育委員会 生涯学習課内
彦P連 事務局 24-7974
Mail pta@mx.hikone.ed.jp





原 吉輝

彦根市PTA連絡協議会会長

令和四年度、彦P連は七〇周年を迎えます。今年後とも、彦根PTA連絡協議会へのさらなるご理解、ご協力をたまわりますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

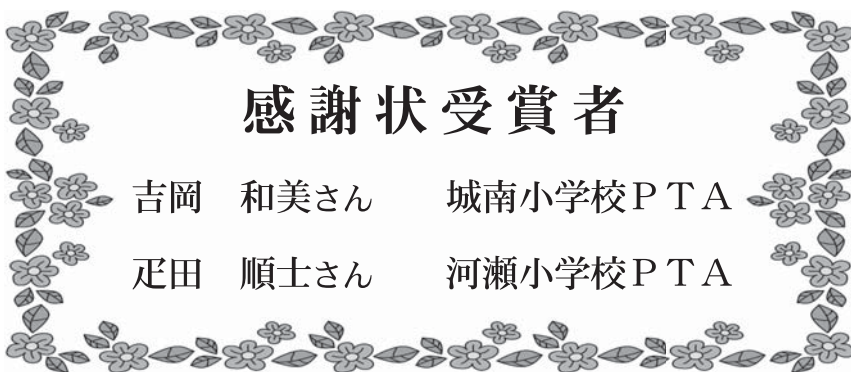
彦根市PTA連絡協議会会長

令和四年度、彦P連は七〇周年を迎えます。今年後とも、彦根PTA連絡協議会へのさらなるご理解、ご協力をたまわりますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

彦Pフェスティバルとして子育て・PTAに関する展示や発表を企画したいと思います。そこで、役員経験があるなしに関わらず、実行委員を募集します。是非、一緒に盛り上げましょう!



第五十回彦根市PTA大会での表彰者、発表者の皆様。おめでとうございます。



感謝状受賞者

吉岡 和美さん 城南小学校PTA
疋田 順士さん 河瀬小学校PTA

滋賀県PTA表彰者

彦根市立東中学校PTA

大西 哲也さん

(彦根市PTA連絡協議会 顧問)

子育て体験発表 ひびきあい賞

「個を育てる」

関 和子さん (彦根幼稚園PTA)

「ボランティア活動を子どもと共に」

岡本 智美さん (若葉小学校PTA)



平田小学校
井上 日和さん



城陽幼稚園
上田 芽依さん



佐和山小学校
野口 蒼翔さん



Company Bona Terra JAPAN
カンパニー・ボナテラ彦根教室

マーガレット・バレエスタジオ

生徒募集中
幼児～大人まで

彦根市中央町7-47 Kビル2F
Tel. 090-6966-7246(浦部)
<http://www.bona-terra.jp/studio/margaret>

全家研
月刊ポピー

ポピーは、子どもたちの限らない可能性を育てます。幼児から中学生までの家庭学習教材

(株)西村教材

彦根市古沢町710番地の52
TEL 0749-22-2137
FAX 0749-26-2953

《創業享保三年 皆さまと共に》
有限会社

正木屋商店

ビバシティ店

万年筆・筆記具各種・紙
文房具・ステーショナリー
Zippo・喫煙雑貨
儀式用品のご用命は当店まで。

〒522-0044
滋賀県彦根市竹ヶ鼻町43-2 ビバシティ彦根 1階
TEL&FAX:0749-27-6140
mail:masakiya-viva@utopia.ocn.ne.jp

学生衣料総合専門店

トラヤ

本店 彦根市銀座町5番4号
TEL 0749-22-5821 代表

自立学習支援塾

はやし じゅく
林 塾

伸びる勉強法を教える塾

自立 林塾 で検索してください
彦根市金沢町616-22(稲枝郵便局の裏)
フリーダイヤル 0120-05-4730

ひとり美容室 19(ジューク)

#住所:多賀町多賀1444-3
#TEL: 0749-20-7456
#営業時間 9:00~17:30
#定休日 毎週日・月
#事前予約割引あり

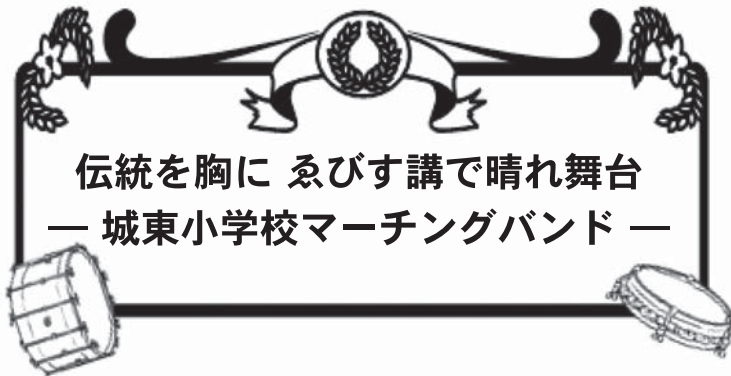
LINEで予約できます
ID @053jgpf



今年度、指揮者を務めた三名の児童は、「皆をまとめるリーダー」として、皆の良いところや

小春日和となった当日、沿道のたくさんの方々から応援を胸に、堂々と行進する六年生の姿がありました。

令和三年十一月二十日、銀座商店街を中心とした彦根市恒例のゑびす講にて、城東小学校六年生によるマーチングバンドの発表が行われました。



悪いところを伝え、最後の発表なのでしつかり終わろう！と頑張りました。「先輩たちが代々伝えてきて下さったマーチングなので、後輩にも伝統を継いでもらって、『城東小といえはマーチング』『城東小学校はいいマーチングだね。』と言われるようなマーチングになっていくって欲しいです。」衣装も代々受け継がれたもので、はじめは派手かなと思っただけで、着ているうちに誇りをもって着られるようになってきました。と、伝統を大切に思い、次代に引き継いでいこうとする意欲を感じました。

一九八〇年代には、市内各小学校においてマーチングバンドが結成され、城まつりではにぎやかなパレードが繰り広げられたそうですが、現在も活動しているのは、城東小学校と旭森小学校の二校のみとなっています。子ども達はマーチングバンド

城東小学校でマーチング指導に携わり、ご自身も城東小学校に通っておられた中村直樹さんによると、城東小学校マーチングバンドの歴史は古く、今から五十八年前の一九六四年（昭和三十九年）に「鼓笛隊」という名称で六年生打楽器、五年生リコーダーの隊形で発足し、翌年にバトンチーム、十年後には金管楽器が加わり、一九七九年頃までには現在のマーチングバンドとしての隊形になったそうです。



令和3年11月20日

を通して、目標に向かって仲間と団結し、達成する喜びを感じたことでしょうか。そしてその達成感こそが、次の目標に意欲をもって取り組む原動力になるはずです。

また、地域で発表し、地域の方々との交流や親睦を深めることで、子ども達自身が地域の中で愛され育てられているということを感じ、自分達の住む街を愛する心にもつながっていくのではと思います。

城東小学校マーチングバンド初代指揮者を務めた角 知行さんよりメッセージ

城東小学校にマーチングバンド（当時は鼓笛隊といった）ができたのは、1回目の東京オリンピックが開かれた1964年のことです。当時6年生だった私は、背が高いということで指揮者をつとめました。何もかもはじめてで大変でしたが、顧問の木下先生が熱心に指導して下さいました。いまでもドラムや和太鼓の演奏を聴くのが好きですが、この時に耳を育ててもらったのかもしれない。マーチングバンドのますますの活躍を祈っています。



指揮を務める角さん
(上)お城パレード
(左)城東小学校校庭

危険箇所マップ作成〜四校協働プロジェクト〜(六月)

東中PTA、本年度活動の最大の目玉です。東中PTAが中心となりつつも、城東小・佐和山小・旭森小各PTAに協力を仰ぎ、四校協働プロジェクトとして、危険箇所マップの作成に取り組みました。

三月から東中PTA役員会で検討を始め、独自アプリの開発や改良など、苦労もありましたが、その甲斐あって、ご意見をお寄せいただいた方は五百名以上、危険箇所マップ公開当日のアクセス数は千以上に達しました。四校の内外から大きな反響があり、おかげさまで貴重な情報共有や意見表明の場となりました。小中複数校のPTAが協働しての取り組みということで、行政や報道、他校PTAなど学外の方々からも注目いただきました。

東中学区には、国道八号線、旧中山道、旧市街地、新興住宅地、鉄道、そして芹川があります。交通の難所も自然災害時の

難所も多く点在することが、今回の取り組みであらためて可視化される形となりました。みなさまからお寄せいただいた情報を集約して、団体として関係各所に改善のお願いにあげている最中ですが、早急な改善や実現がなかなか難しいのが現実です。まずは、各ご家庭にて情報共有のうえ、安全に努めていただくようお願いしているところです。



ICT活用



みんなで



東中PTAは会員数779、市内随一の大所帯です。しかし、このコロナ禍では、一堂に会しての活動は非現実的。そこで、新たなスタイルのPTA活動を模索してきました。加えて、ICTを活用したPTA活動にも取り組みました。



生徒会役員とPTA役員との座談会(一月)

感染拡大の合間を縫っての間設定。校長室にて、生徒会役員四名、先生方二名、PTA役員五名での、和やかなひとときを過ごしました。はじめこそ少し堅い空気だった

たものの、すぐに緊張も解け、生徒会に入ったきつかけや、今欲しいもの・興味のあること、そして校則について等、話題に事欠かず、あつという間に予定時刻。充実した語らいの場となりました。

参加した保護者からの感想は「こんなご時世に、よそのお子さんとお話できてよかったです」「なんとも清々しい気持ちになりました」など。

役員が、『PTAとして何ができるか』をあらためて考えるきっかけにもなりました。この座談会をきっかけに、生徒会とPTAのコラボ第二弾が誕生しました(五頁下)。



対面&リモートでのハイブリット役員会(九月)

初秋の緊急事態宣言中、タブレットを持ち帰った我が子に負けまいと、リモート役員会にチャレンジ。ただし、選択肢を設けて、学校に参加・自宅からオンライン参加、を各自が選べるようにして、役員会を実施しました。

対面・リモートを問わず、「〇〇さん、どう思われますか?」と普通にターン。新たな会議方法として、今後検討や改良ができればと考えています

対面



対面

Web講演会 (十二月〜三月)

その一

「はばたき」

〜巣立ちのためのちよこつと

ヒント〜

講師：岡田眞子先生 (東中学校)

スクールカウンセラー)

※思春期真っ只中の子育てに奔走する保護者に向けた臨床心理

士の立場からのアドバイス

「むずかしい年頃の我が子に、

「そもそも、思春期ってなに？」

といった保護者からの質問に

応じる内容を、わかりやすく解説

してくださいました。〃思春期

あるある〃に、きつと各ご家庭

で、うなずきながら視聴された

ことでしょう。

その二

「親子で学ぶ防災・減災」

〜東中ブロック四校協働プロ

ジェクトの一環として〜

講師：畑山満則先生 (京都大学

防災研究所教授・滋賀大

学データサイエンス学部

特別招聘教授)

①防災の考え方

②都市型の水害はどのように起

こるのか

③ハザードマップはどのように

よめばいいのか

④水害に関する情報はどんなも

のがあるのか

⑤避難情報はどのように発表さ

れているのか

⑥避難行動はどのようにしたら

いいのか

以上六本立て

昨年八月には、滋賀大学の学

生と共に東中学校区の現地調査

をしてくださった畑山先生によ

る動画。なんと、動画内では、

滋賀県、彦根市、芹川といった

語が何度も登場し、「皆さんの中

学は、この辺ですよ〜」と地

図上の東中を指した説明的一幕

まであるという完全カスタムの

Web研修会でした。

両企画とも、急ぎよ動画配信

に切り替えたのではなく、はじ

めから動画配信&個人視聴を想

定してテーマを選定し、配信に

至りました。一時停止してメモ

したり、巻き戻して再視聴した

りも自由自在。動画配信の利点

を活かしたWeb講演会となり

ました。

いずれの動画も、多くの方々

にご視聴いただきました。

個々に

令和3年度 東中PTA活動スローガン

「今こそ大人も子どもも新たなチャレンジ ~できることから一つずつ~」

若者応援スタイル〜生理用ナプキン無料配布 (二月〜)

巷では、昨年の夏頃から、自治体などによる「生理用ナプキン無料配布」の取り組みが報じられてきています。月経中の不安や不快感を少しでも和らげることで、学校生活をより充実したものにしてほしい「ありのままの性や生を肯定的に受け止めてほしい」という思いを込めて、校内のトイレに生理用ナプキンを置くことになりました。

昨今話題のSDGsを意識すると、何だか仰々しくありませんが、とりわけ5. ジェンダー平等を実現しよう (ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る) 1. 貧困をなくそう (あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ) は、PTA活動として取り組みやすい視点でもあります。東中学校は校舎が広いのですが、校内の全てのトイレに生理用ナプキンを置くことで、月経が急に始まったり、教室移動が続いたりといった場合でも心配しなくて済みます。この活動は、単に女子生徒にのみ還元性があ

るのではなく、学校全体の活性化にもつながることが期待されます。また、まだ取り組み自体が珍しく、手探りの部分が多々ありました。しかし四頁の座談会をきっかけとした、生徒会とPTAとのつながりが功を奏し、先生方経由で生徒たちの意見を取り入れたの事業スタートとなりました。この調子で、今後も生徒たちの意見を反映させて実施していけそうです。決して、単なる物品配布やサプライズプレゼントではありません。PTA活動として取り組むことにより、今まで見過ごされてきた不合理についての問題提起となることをめざしています。女性だけが不便な思いをする理不尽さについて、まずは大人が気づき、行動を変えるきっかけとなれば、それは老若男女にとつて過ごしやすい社会となります。その一端を担うPTAでありたいと考えています。





中央中学校では、服のチカラプロジェクトに二〇一五年から参加しています。身近な【服】を通じて、難民問題や環境問題に関心を持つきっかけとなり、服の回収を学校外へ呼びかけることで、生徒が地域社会とつながる機会となるように取り組みを続けています。

服のチカラプロジェクトとは、ユニクロを経営するファーストリテイリングと、国連難民高等弁務官事務所が全国の小中高校へ呼びかけているものです。

中央生徒会では、学校区内のこども園、幼稚園、小学校、公民館へ協力を呼びかけ回収した後、ダンボールに梱包し発送しました。

中央中学校



授業では、「服のチカラ」やリサイクルについて、SDGsに触れながら学ぶことができ、難民問題や環境問題の理解を深めることができました。

生徒会本部を中心に他の校園

生徒会「服のチカラ♡プロジェクト」

- ①授業で「服のチカラ」について学ぶ (6～7月)
- ②学校や地域に呼びかける (7～11月)
- ③服を回収し、発送する (11月末)
- ④服の寄贈レポートが届く (1月頃)



への呼びかけや段ボールへの梱包など責任を持って活動できました。

今後も活動を継続し、生徒が身近な服から難民問題、環境問題に関心を持つきっかけをつくらせていきます。

【中央中生徒会担当教諭】

あとがき

令和三年度も終わりを迎え、こうして彦Pだより一五〇号を無事発刊することができました。

今年度もたくさんの方にご協力頂きありがとうございました。

次年度彦P連は、七〇周年を迎えます。今後も変わらずご支援、ご協力よろしくお願い致します。

広報部一同

